

第三章

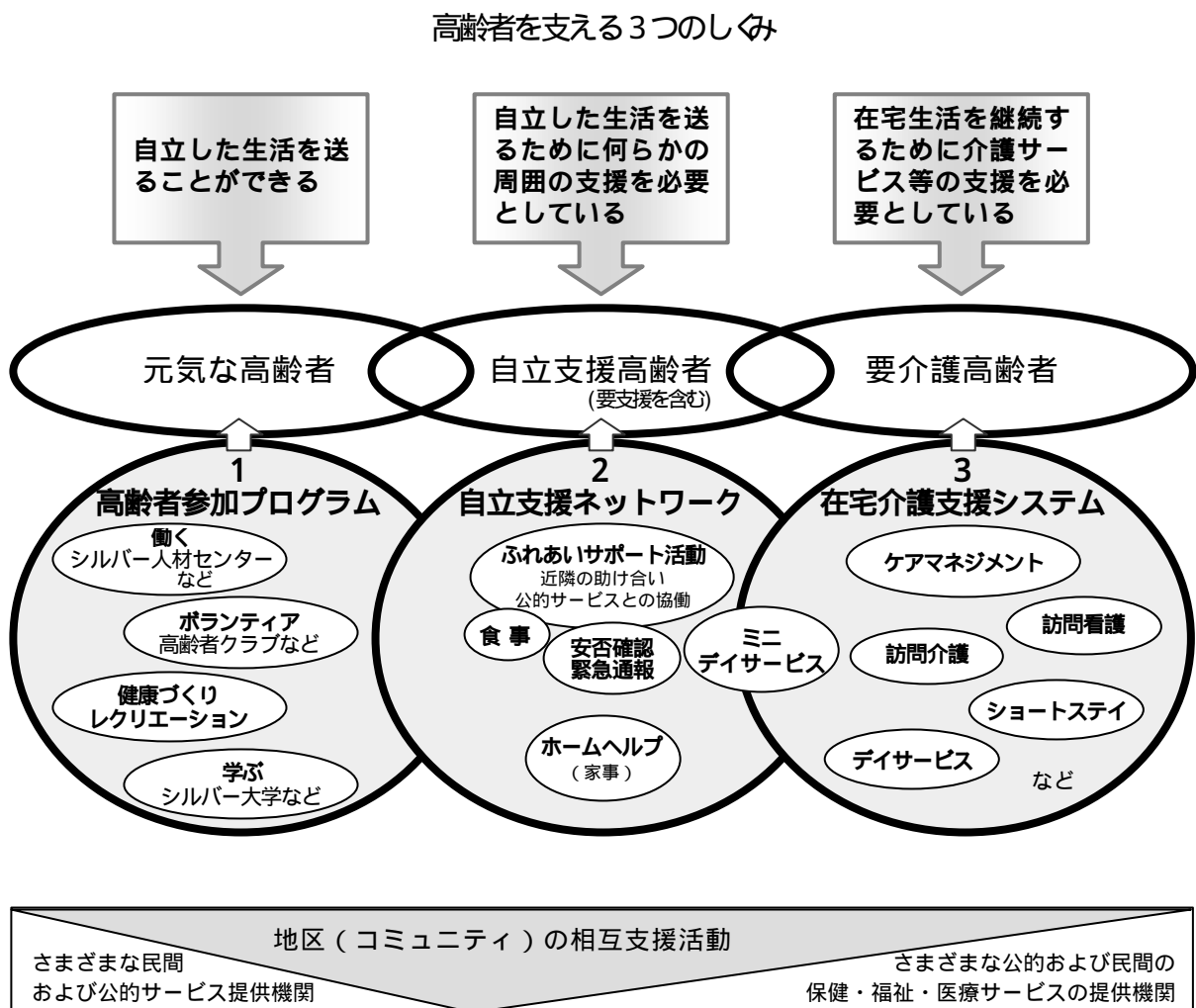
第二期に推進するプロジェクト

.....

1. 高齢者を支える3つのしくみと今後の課題

(1) 高齢者の3つの類型と支えるしくみ

品川区では、高齢者について、その心身状況に応じて3つの類型を設定し、それぞれに対応する支援システムを下図のように構築することとし、これまでさまざまな施策に取り組んできた。本計画においても、この3つの類型を基本とし、それぞれの類型の高齢者の抱えるニーズ特性に即した、きめ細かなサービス提供ができるよう支援システムを強化・充実していく。



(2)これまでの経過と今後の課題

区は、平成5年3月「品川区高齢社会保健福祉総合計画」を策定し、在宅生活（介護）重視の視点から、高齢者保健福祉施策の総合的な展開と在宅介護支援体制の強化を明確に打ち出した。平成5年度以降、平成12年度の介護保険導入を経て、現在までの主な取り組みと成果をまとめると以下のとおりである。

平成5年度～11年度：介護保険制度の導入準備まで

計画的な介護サービス基盤の整備

在宅介護支援センター運営マニュアルの開発（平成5～7年度）

要介護認定のモデル事業実施（平成8～10年度）

ケアマネジメントの質的・量的拡充（介護保険制度円滑実施の基盤づくり）

在宅介護支援センターの拡充（ケアマネジメント体制の強化）

平成12年度～14年度：介護保険制度への円滑な移行

1.介護サービスを安心して利用できる環境づくり

サービス向上（サービス評価・事業者育成支援）の取り組み

在宅介護支援センター運営マニュアルの改定（ケアマネジメントの質の向上）

品川福祉カレッジの開設（人材の育成）

品川成年後見センターの開設

2.介護予防と充実した高齢期の生活づくりのための検討

新しいタイプの入居型介護施設の整備と検討

地域リハビリテーションシステムの構築

「区民健康づくりプラン品川」の策定

高齢者の社会参加・就業支援のしくみづくり

介護保険第二期目を迎えるにあたり、引き続き「在宅介護支援システムの強化」や「サービスの質の向上」などに努めるとともに、下記の課題に重点的に取り組む必要がある。これらの課題解決に向けて、次頁の6つの重点プロジェクト（*）を含む10の推進プロジェクトに取り組む。

第二期の課題

介護保険制度の定着をどう図るか

介護予防（重度化予防を含む）施策をどう展開すべきか

住民を主体とするコミュニティサポート（住民相互の支え合い）をいかに現代的に再構築するか

高齢期の住まいと生活の多様性をいかに確保するか

2. 推進プロジェクト

*のある6つのプロジェクトは、第二期介護保険事業期間において重点的に取り組む課題である。

- *
プロジェクト1 **「高齢者社会参加プログラム」の推進**
 サブプロジェクト1 就業 - 新就業システム「サボしながわ」の充実
 サブプロジェクト2 ボランティア - ふれあいサポート活動への参加促進
 サブプロジェクト3 生涯学習・スポーツ・レクリエーション等の事業の充実
 サブプロジェクト4 若い世代との交流事業の促進
- *
プロジェクト2 **「区民健康づくりプラン品川」の推進**
- *
プロジェクト3 **自立支援ネットワークの充実**
 サブプロジェクト1 ふれあいサポート活動の推進
 サブプロジェクト2 介護予防等の自立支援サービスの拡充
- プロジェクト4 **在宅介護支援システムの強化**
 サブプロジェクト1 ケアマネジメントの強化
 サブプロジェクト2 地域ケア会議の再編成
 サブプロジェクト3 特別養護老人ホーム入所調整のしくみと運営
- *
プロジェクト5 **痴呆性高齢者のケアの拡充**
- *
プロジェクト6 **地域リハビリテーションシステムの構築**
- プロジェクト7 **利用者保護のしくみづくり**
 サブプロジェクト1 苦情対応システムの運営
 サブプロジェクト2 サービス評価・向上のしくみと運営
 サブプロジェクト3 良質なサービス事業者の確保とわかりやすいサービス事業者情報の提供
 サブプロジェクト4 権利擁護のしくみと運営 ~「品川成年後見センター」の充実~
- *
プロジェクト8 **ニーズに対応した住まいと施設の整備**
 サブプロジェクト1 新しいタイプの入居型介護施設の整備
 サブプロジェクト2 在宅サービス基盤の整備
- プロジェクト9 **人にやさしいまちづくりの推進**
- プロジェクト10 **福祉人材の育成 ~「品川福祉カレッジ」の充実~**